

# とく

## 「今、若い世代こそ地域活動へ」



協議会副会長  
新堀 巧

今、学校も企業も役所も土、日休日制になろうとしています。勤務先中心の働き方時代の終りが近づいています。

こんな時代の流れの中で、私達は地域活動も社会の変化に対応して行かなければならないと思います。

会社へお勤めのお父さんや、パートで働いているお母さんの平均的な現役のご家庭こそ、進んで地域活動に参加出来る時代になって来たのです。

近所の方とすれちがって、名前も顔も存じあげない地域社会では困ります。いろいろな商売に励んでいる方、野菜の増産に努力

### 定期総会

協議会の平成四年度の総会を  
四月十九日(日)  
午後一時三十分より  
開催いたします。

新旧役員・委員の方々はご多忙中のことと存じますが、是非ご出席下さいませようご案内申し上げます。

協議会会長  
長尾 一

### 新春かるた会

文化部

竹尾 光代

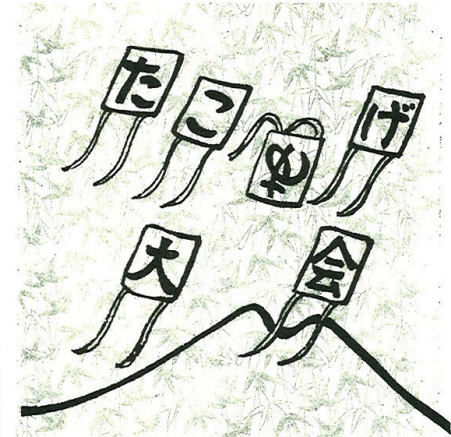
一月十九日、恒例のかるた会が催されました。

今回は、柏かるた会二段の高木茂先生と、前文化部長碓氷さんのご指導のもと小学生二五名、大人一三名の参加でした。

まず先生から「カルタ」についての由来が説明され又記憶力、瞬発力を養う知的ゲームであり、子供からお年寄りまで一緒に楽しく遊べるという利点もあり、取札の音別分類や、きまり字のことなどお話のあと、ちらし取りから始められました。かるた会に出席の方々の素早さは驚かすことながら、札を取る所作の美しさもさすがと感じ入りました。

活動の方法や、時間、場所など充分に話し合い、地域活動に参加して、ほんとうによかったと、心に残る様にしたいものです。

姿はほほえましく、その目の輝きと集中力は印象深く心に残りました。  
最後は源平に分れて勝負、和気あいあいのうちに帰りのご挨拶の仕方も教わってお開きとなりました。



緑ヶ丘 小林国雄

寒風に舞い上がるたごけは雄壮であり、子供達の夢を大きく広げます。近年市内では、住宅が密集し、たごけをする場所がなくなってきました。市民相互のふれあいの輪を大きく広げる為に、全市民に呼びかけ「柏市のたごけ揚げ大会」として、柏市近隣センター連絡会議、田中コミュニティ住民連絡会議共催により、一月十二日利根運河堤防において、幼児・小学生・一般の部、団体の部に分れて行なわれ

ました。  
競技参加者、見物人を含めて二〇〇〇名近い人が集り会場は盛り上りました。  
残念な事に風がなくてたごけが上らず競技者は、たいへん苦勞しましたが昼食には堤防下でカップラーメンととん汁のサービスがあり、熱い湯気をあげながらほのぼのとした「ふれあいの広場」となりました。



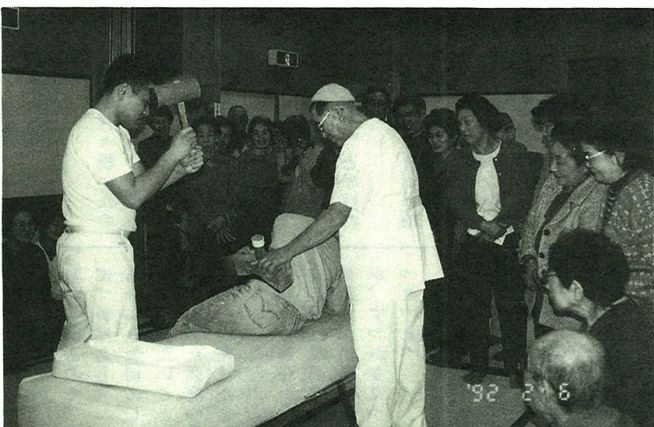
## 腰痛治療講座

保健福祉部

大田 みつる

二月六日(木) 講師に治療院「桜い会」の高木幹一先生と、助手の方四人をお迎えして腰痛講座を開催しました。参加者は五十一人。  
高木先生は、体の中にウイルス、細菌が入った病気になる時は、早く病院へ行って治療を受けないと、いけません。それ以外、骨を正常にして内臓の病気を直すという事です。  
人体の七〇%以上は、骨がずれているという理論に基づき、レントゲン検査より精密に触診で骨のずれを判断し、高木式矯正器具を使用し、正確に骨格を矯正すると云う事です。

まず腰痛の人をベッドに寝かせ触診し、木製の枠をセットして、そこを木槌でパン、パンと叩いて行う治療法に、びっくりしましたが、荒療治でないで骨は矯正されないのではありません。腰痛予防としては早歩きが良いとの事です。  
二人で組んで太股の内側を足で踏みこする指導を教えてくださいました。  
先生のユーモアあふれる御指導であつと云う間の、中味の濃い腰痛講習でした。



パッコーン、パッコーン矯正治療



# 今の水は安心かな

生活環境部 近藤 輝子

日本消費者連盟事務局長水原博子先生を講師にお迎えして講演会が開催されました。

この日はいつもより寒い朝でしたが、八〇名の方が熱心に受講されました。

先生のお話の中に今は世界的に水は汚染されており大変深刻な状態になってきていると言ふ事がありました。田畑の農薬、化学肥料、合成洗剤、除草剤、工場排水、家庭の雑排水と水を汚染する物を数えれば切りが無く、特に地下水汚染が現在一番憂慮されているとのこと。それが私達の命の源である飲料水に深刻な

事態を引き起こし、自然のサイクルを破壊する恐れがあると言ふのです。

安心して水道水を飲む為に私達が出来る事は毎日の暮らしの中に、台所から出る水を汚さない事だと思えます。ちょっとした家庭での努力で生活雑排水が浄化されるのは既に実証済みとなっています。

循環して一度汚れた水が浄水場を通過して私達の口に入るわけですから、一人一人が常に水の問題に関心をもち、どうすれば汚さずに済むか皆で考えて行く事が重要であると痛感したひとときでした。



防災訓練(協議会) 12月1日

# 雑排水浄化懇談会

広報部 T・M

「あなたは、カレーを作るとき、どんな風に鍋を洗っていますか」

「紙でふき取ってから...」

「カレーで食べた後、カレーうどんにして、鍋をきれいにさらってしまおう、そんな食べ方は考えられないでしょうか」

市内河川、手賀沼の浄化が、ある一定のところで、進んだものの、それ以上の改善がみられない。何とかしなければと、県の環境部の本橋さん、市の環境課の森さんの呼びかけで、主婦の生の声が聞きたいと話し合いがもたれました。

「日本人は、昔から何でも水に流して、きれいにしたいという気持ちがある」

「調理方法を工夫して、ゴミが出ないように、水に流さないようにしている」率直な意見が沢山だされました。

自分一人位、少しなら流してしまってもという気持ち、どうしてもある。頭をドカーンとくられたような考えさせられる話し合いになりました。



囲碁大会(文化部) 2月23日

雑排水美人から調理美人になって、ゴミを出さない、流さないまで運動を進めていきたいと思います。

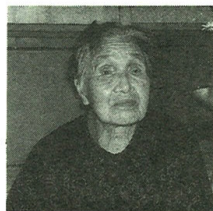
話し合いの場をどんどん広げていきたいと思います。話し合いました。



料理講習会(生活環境部) 2月27日

# 吾が町の年長者訪問

(T.M)



通り一丁目 西川りきさん (九十六才)

「娘のつれあいが、い人で辛むせに暮しています」開口一番、感謝の念。

ピンクの頬の西川りきさんは今年の六月で九十六才になられると思えぬ若々しさです。

「一人娘が代々続いたので、孫には、沢山の子供が恵まれるよう願っていたら三人も恵まれました。」と現在は、四世代同居の八人家族です。(西川、小川、高橋姓)

ひ孫さんからは、「大きいおばあちゃん」と呼ばれています。

毎週、木・金曜日は、柏寿荘で、一日を過ごすのが何よりの楽しみ、荷物を振り分けにしようとして、一人でN T T前のバス停まで歩きます。「自分のことは、ほとんど自分で出来る優等生のおばあちゃんです」と娘さん

「昔は柏寿荘から眺める筑波山は最高だった。清掃工場が出来たので景色が、すっかり変わってしまった」と。

いつも感謝の気持ちで、心に何のわだかまりの無いのが長生きの秘訣とおみうけしました。



# 「アゴオヒケ」

豊町 鈴木 三郎

ア、ありがどう  
心より感謝をこめて、お礼を云う。  
ゴ、ごめんなさい  
間違ったら心からお詫をする。  
オ、おはよう  
さわやかな心で誰れにでも挨拶する。  
ヒ、広い心をもて  
ケ、喧嘩口論をするな  
額を引けば自然に頭が下がる、額を出してものを云うと不遜な態度となり他人に嫌われる。  
五十数年前に父親に云われた、アゴオヒケの五文字を、柏市民文化会館で催された。

# 編集後記

近頃、きんさん、ぎんさんで、長寿ブームですが、どنگりの「吾が町の年長者訪問」を企画、掲載してから満一年、三回目となりました。広報部一同グットタイミングだったと喜んでます。これからも更により良い企画、より楽しく、よりビジュアルで、みやすい紙面へと努力します。

鈴木三郎の  
アゴオヒケ